



# 今年度の除雪情况等と 住民参加型の歩道除雪の取組み

## 【今年度の除雪情况等】

### 1 降雪状況について

平成 17 年度の指定観測 5 地点における累加降雪深（盛岡・北上・沢内・遠野・二戸の平均）は 2 月 1 日現在 251.6 cm となっており、これは昨年の約 1.1 倍また過去 5 ヶ年平均（平成 12 年度～平成 16 年度）の約 1.3 倍となっています。※盛岡、北上、沢内が過去 5 ヶ年比 1.3 倍 遠野、二戸が 1.1 倍

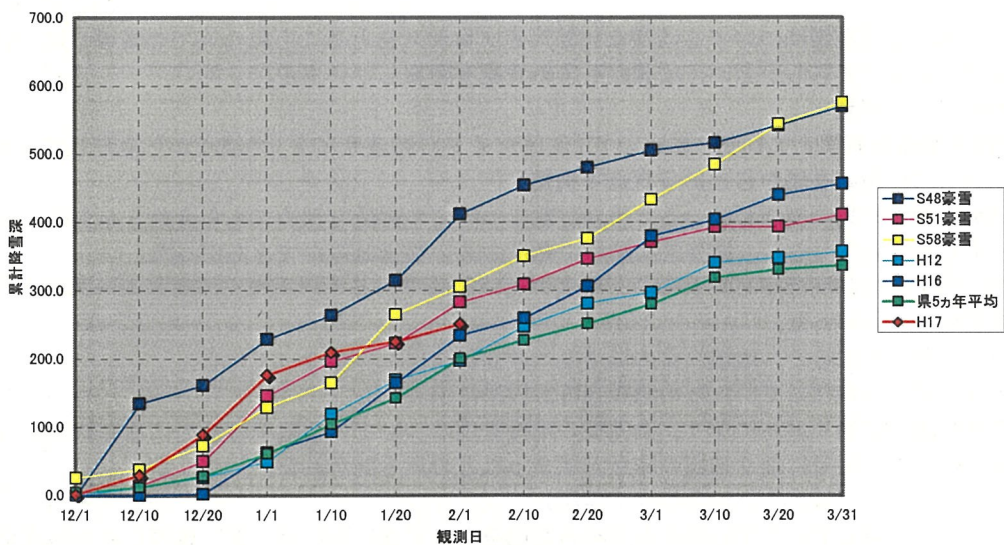
### 2 稼働状況について

2 月 1 日現在の除雪機械の稼働台数は延べ 14,873 台に達しており、昨年同時期の 1.4 倍過去 5 ヶ年平均の約 2.0 倍となっています。

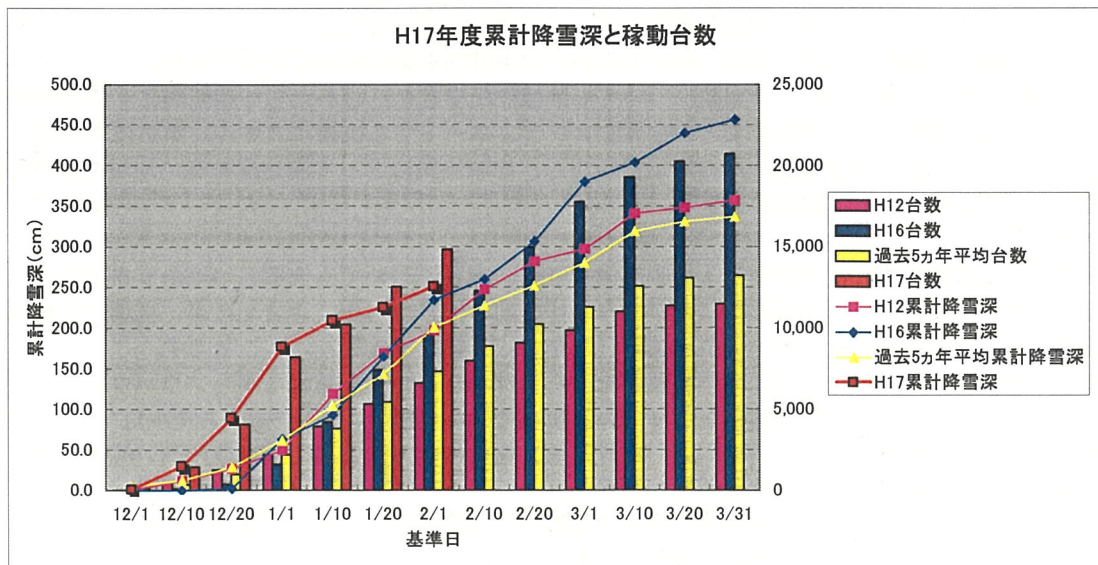
### 3 除雪費について

2 月 1 日時点での実施済額は 24 億円余となり昨年同期の約 1.8 倍、過去 5 ヶ年平均の 1.8 倍に達し、今後、平年並みの降雪を想定した場合、最終的には昨年度の除雪費を上回るものと想定されます。

岩手県主要観測5地点（盛岡・北上・沢内・遠野・二戸）平均累計降雪深の推移



H17年度累計降雪深と稼働台数





## 【住民参加型の歩道除雪の取組み】

平成 17 年度土木技術研究発表会（平成 18 年 2 月 2 日～3 日）より  
水沢地方振興局土木部道路河川環境課 晴山

住民参加型の歩道除雪について、昨年度モデル事業として水沢地方振興局で実施しました事例について紹介いたします。

### 1. 住民参加型の歩道除雪とは？

住民参加型の歩道除雪というものはどういうものか、通常の歩道除雪と比較して右上の表にまとめました。通常の歩道除雪は委託業者が歩道のみを岩手県の基準に沿って作業します。岩手県の基準とは、除雪計画により定められた基準で、昨年度のモデル事業ではランク A に該当し、積雪量 10 cm 以上のときに早朝除雪により、通勤・通学時間帯以前に通行可能な状態を確保することとしています。

それに対し、住民参加型の歩道除雪は作業をするのが地域の住民で、除雪をするところは歩道だけに限らず学校や公民館などの公的な場所も含み、地域住民が必要だと感じたところを除雪します。また、除雪をする基準も設けておらず地域住民の方が必要と感じたときに出勤することとしています。

次に、今の説明をイメージ図で表したものが右下になります。委託業者による除雪は青線で囲まれた部分のみを行います。それに住民参加型の歩道除雪をプラスすることで線的な除雪から面的な除雪へとレベルアップを図るものです。

### ■それぞれの役割分担

次に、それぞれの役割分担について簡単な図にまとめました。歩道除雪作業をする地域住民に対して県と市町村が、除雪機械の貸与、機械燃料費、機械修繕費、スノーダンプやスコップ等の消耗品の提供、ボランティア保険の加入料を支援します。内容についてはそれぞれが連絡調整します。

### 2. 取組内容の紹介（金ヶ崎町立第一小学校の例）

昨年度、住民参加型歩道除雪のモデル事業として、岩手県では初めて金ヶ崎町立第一小学校で実施しました。該当路線は第一小学校の通学路で歩道が設置されている県道 1 路線と町道 2 路線です。

この地域の特色としまして、以下の点について挙げられます。除雪作業の参加者は 22 名中半数以上の 14 名が P T A 役員や先生方で、その他自治会長、行政区長が含まれます。地元のニーズとしては、「通学路だから、子供たちを安全に通学させたい」「交差点の除雪を充実させたい」ということでした。主な作業時間帯は、登校時間前と下校時間の頃でした。

### 3. 昨年度の実施結果

昨年度の実施結果は、右下のとおりです。除雪の内容は、機械除雪は歩道拡幅除雪や校内除雪など、比較的面積の広い線や面の除雪をしています。歩道の除雪状況はこのように降雪量が多いにもかかわらず広く除雪されています。それに対し、人力除雪は交差点や通学集合地点等の除雪といったポイントごとの除雪が行われたようです。

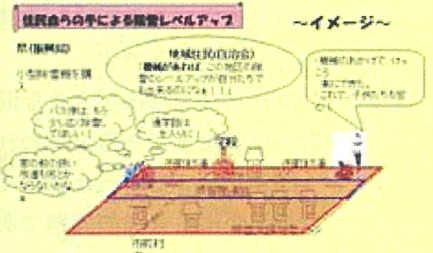
## 1. 住民参加型の歩道除雪とは？

	通常歩道除雪	住民参加型歩道除雪
作業者	委託業者	地域住民
作業箇所	歩道のみ	必要な場所
出勤基準	岩手県の基準（※）	必要と感じたとき

※ランクA・・・積雪量 10 cm 以上

原則として早朝除雪により、通勤・通学時間帯以前に通行可能な状態を確保する。

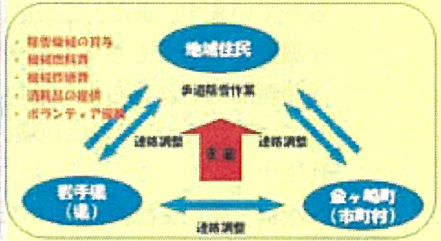
一言で言えば



線的な除雪 → 面的な除雪

### それぞれの役割分担

歩道除雪作業をする地域住民に対し、県と市町村は支援します。



## 2. 取組内容の紹介

### （金ヶ崎町立第一小学校の例）

平成 16 年度のモデル事業として取り組んだ、岩手県では初めての住民参加型歩道除雪です。



① 一般県道 北上水沢線  
町道 後田北田成線

## 3. 昨年度の実施結果

### （第一小学校）

総稼働日数・・・24日間稼働 計73時間

一日平均3時間作業しました。

（内 県道除雪分 20日間稼働、31時間）

稼働時間内訳

機械除雪・・・稼働時間57時間、稼働距離55 km

（機械の不具合によるため）

人力除雪・・・稼働時間16時間、平均作業人数6名



#### 4. 問題点と成果

問題点と成果についてですが、今年度に意見交換会を行い問題点やわかったことが4つありました。

1つめは連絡調整の不十分により1回だけ機械の不具合に対する対応が遅れてしまったことがありました。2つめは、地元住民の方の参加がそれほど多くないということで、住民協働の歩道除雪についてのPRが不足していたのではないかと意見がありました。3つめは地元と町、県の役割分担の見直しが必要だという意見がありました。岩手県で初めてのモデル事業ということで、費用負担をすべて県で負担していました。4つめは分かったことですが、除雪の充実が特に望まれている場所は、集団登校の集合場所、車道除雪後の交差点であるということです。

これらはそれほど大きな問題ではありませんが、事務レベルでの改善点はまだまだあると思われます。

問題点は3つあったわけですが、1つめの連絡調整については、意見交換会にて共通の問題であるということを確認しました。2つめのPR不足については、「ここは私たちの手で除雪を行っています」といった内容の看板の設置や、ホームページ等でのPRを考えています。また、この発表の最後の方にもPRをさせていただきます。3つめの役割分担ですが、今年度は金ヶ崎町に機械の燃料費を負担してもらっています。また、ここには書いていませんが、打合せなどで様々な調整を行ってもらっています。

問題点はこれからもいろいろ出てくると思いますが、一つ一つ解決していくことで、さらに地域の実情に合った除雪が出来るものと思われれます。


次に、意見交換会で挙げられた成果です。1と2は狙い通りで、機械の貸与やスコップやスノーダンプの提供は好評で、除雪の必要なときにすぐ対応できるという声がありました。3と4は担当していた意外というか驚いたことでしたが、地域住民の方が一緒に除雪作業をすることでつながりが出来たことや、児童を見守ることが出来るので安心して安全な環境となったといった意見も出されました。5は、除雪に限らず草刈についても少しずつですが道路の維持管理に対して、関心が持たれるようになってきました。

#### 6. まとめ

最後に、まとめとして住民参加型の歩道除雪をすることのメリットを地域住民と県、市町村とに分けて挙げて、PRとさせていただきます。



### 5. 他地域への導入の紹介 (金ヶ崎小学校周辺地区)

今年度から、金ヶ崎小学校周辺地区において新たに金ヶ崎町社会福祉協議会が住民参加型の歩道除雪を実施しています。(参加人数: 27名)



### 除雪の内容

機械除雪…歩道拡幅除雪、校内除雪  
 人力除雪…交差点、通学集合地点等の除雪

歩道の除雪状況      元気に登校!

### 4. 問題点と成果

16年度の除雪について意見交換会を行いました。  
 問題点・わかったこと・・・意見交換会より

1. 連絡調整のミスがあった。(機械の不具合)
2. 除雪についてのPRが不足していた。
3. 自治会、町、県の役割分担の見直しが必要。
4. 除雪の充実が特に望まれている場所は、**集団登校の集合場所、車道除雪後の交差点。**

重大な問題点はないが、事務レベルの改善点はあると思われる。

### 問題点の解決に向けて

1. 連絡調整のミス。(機械の不具合に対する連携)  
 意見交換会にて共通の問題であることを再確認
2. 住民参加型の歩道除雪についてのPR不足。  
 看板の設置、ホームページ等でのPRを考えています。
3. 地域住民、町、県の役割分担。  
 意見交換会での意見をもとに協議し、協定内容の変更をしました。  
 金ヶ崎町: 機械燃料費  
 岩手県: 機械貸与、修繕費、消耗品、保険料

一つ一つ解決していくことで、さらに地域の実情に合った除雪が出来るものと思われれます。

### 成果・・・意見交換会より

1. 非常に好評であった。(機械貸与、消耗品提供)
2. 除雪の必要なときにすぐ対応できる。
3. 地域住民のつながり作りになった。
4. 児童を見守ることが出来て安心して安全な環境となった。
5. 道路の維持管理に対して、関心を持つようになってきた。(草刈など)

満足度は高いように感じられました。

### 6. まとめ

～地域ぐるみのススメ～  
 住民参加型の歩道除雪をすることのメリット  
 ～地域住民～

- ・歩道除雪が充実する(昼間の除雪)
- ・地域の連携が強化される → 防犯に有効 etc. 子供たちに地域住民の目が向けられる

～県、市町村～

- ・求められているサービスが把握できる
- ・きめ細かい対応が可能になる
- ・道路の維持管理への興味を持ってもらえる。

モデル地区における住民参加型の歩道除雪は満足度の高いものとなっています。